

【報告の目的】

- ★ 格差形成過程の階層論的整理
- ★ 平等化政策の評価
- ★ 平等社会の条件と variation

【階層論とは】

社会的地位を中心とする
 希少資源配分プロセスの理解の形式



性別階層制からの脱出 Escape from the Gender Stratification System

田中 重人
 (東北大学大学院文学研究科)

TANAKA Sigeto
 (Graduate School of Arts and Letters, Tohoku Univ.)
 E-mail: tsigeto@nik.sal.tohoku.ac.jp

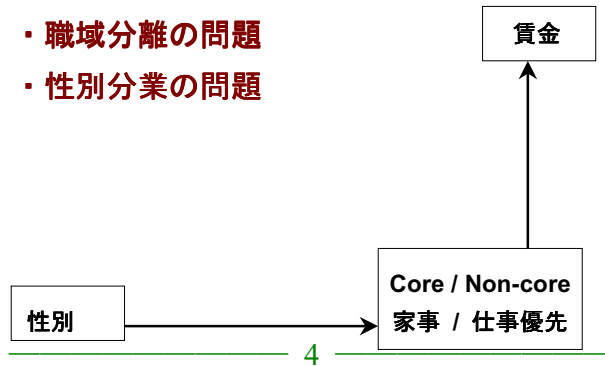
1

2

3

【性別階層論】

- ・ 職域分離の問題
- ・ 性別分業の問題



4

【4種の政策課題】

	事後の平等 (1)	事前の平等 (2)
職域分離 (A)	Comparable Worth	性差別禁止 Positive Action
性別分業 (B)	育休など	性別分業の 撤廃

平等社会の条件 = (A1 or A2) and (B1 or B2)

5

【Comparable Worth】

技能や責任によって職務を評価し、
 それに基づいた支払いを求める

- ★ 「職務評価が違えば賃金が違うのは当然」
- ➡ 垂直な職域分離が存在していれば
 完全な平等化はできない

6

【育児休業制度】

育児のため仕事を休むことを保証

- ★ 人的資本の減耗をカバーできない
 ➡ 継続がものをいう職種では不利益が残る
- ★ 育児による休業を一定期間だけ保証
 ➡ 家事負担の一部しかカバーできない

7

【事後の平等化の限界】

労働の質・量に応じて報酬が支払われるべき
 という規範

- ・ Comparable worth …… この規範の範囲
 を超えられない
- ・ 育児休業制度 …… 家事の一部についての
 例外的措置

8

事後の平等は
 平等な社会の条件ではない

$$(A1 = B1 = \phi)$$



平等社会の条件 = ふたつの領域での 事前の平等化

$$= A2 \text{ and } B2$$

9

【事前の平等に関する規範】

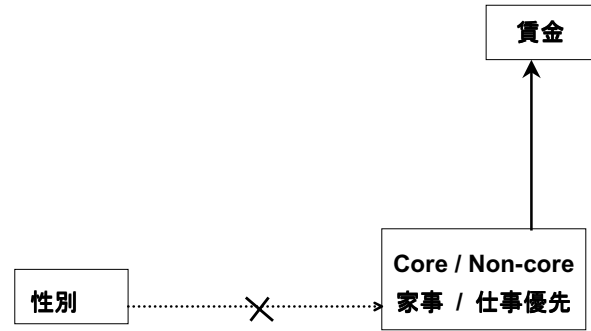
性別に基づく社会的地位の固定的配分の変更にに関する社会的合意

男女共同参画社会基本法 (1999) 2, 4, 8, 9 条など

- ・ 労働市場における性差別の禁止 (A2)
- ・ 仕事に投入する時間の均等化 (B2)

10

【事前の平等が実現した社会】



11

【事前の平等化の具体的な課題】

- ・ 性別職域分離に対して
……労働市場における性差別の禁止
- ・ 性別分業に対して
……仕事に投入する時間の均等化

以下では後者について論じる

12

【男性の働きかたの硬直性】

- ★ 男性の労働供給は経済状況に左右されない (Douglas の法則)
- ★ 男性の家事時間は短い
- ★ 男性の家事時間は仕事時間とは独立

= 家族のコントロールの対象外

13

【仕事と家事の両立は可能か】

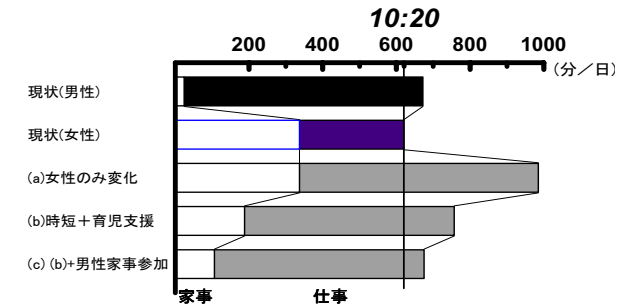
内閣府「男女共同参画基本計画」

- ★ 時短：年間 1800 時間労働
- ★ 育児支援（保育所など）
- ★ 男性の「家庭への参画」

……Douglas 法則に配慮した構想

14

30 代の平日の平均生活時間によるシミュレーション。
(a)(b)(c)は女性のみ示す。(NHK「国民生活時間調査」2000 年)



15

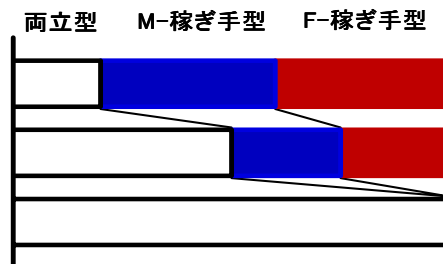
Douglas 法則下で 仕事と家事の両立に必要なもの

- ・ 支援制度の充実
- ・ 長時間労働の容認
- ・ 男性の働きかたの部分的柔軟化

16

【平等社会の夫婦キャリア類型】

Douglas 法則の不成立を想定した場合



17

【平等社会のヴァリエーション】

- 性差別の禁止……必須
- 性別分業の撤廃
……実現の形態はさまざま
- 事後の平等化
……あってもなくてもよい

18